

稲作だより

第 8 号
中干し
生育調節編

令和4年6月24日発行
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト
最上地域本部
最上総合支庁農業技術普及課
Tel 29-1329（稲作担当）

茎数を確保した圃場から中干しを開始しましょう！

中干しの目安

1 作溝・中干し開始の目安

現在、生育は回復傾向にありますが、圃場によるバラつきが大きい状況です。自分の圃場の生育状況を確認し、下表を参考に、目標茎数を確保した圃場から速やかに作溝・中干しに入りましょう。

目標茎数に満たない圃場は浅水管理を継続し、今月中に中干しに入れるように茎数を確保しましょう。

中干しに入る茎数の目安

品種	有効茎数 (本/m ²)	目標茎数(本/m ²) 有効茎数の8～9割	株あたり目標茎数(本)	
			70株/坪	60株/坪
はえぬき	480	384～432	18～20	21～24
雪若丸	560	448～504	21～24	25～28
つや姫	410	328～369	15～17	18～20
あきたこまち	450～480	360～432	17～20	20～24
ひとめぼれ	500	400～450	19～21	22～25

中干し効果の一例

- 窒素吸収の抑制
無効分げつ（穂にならない分げつ）の発生を抑制し、有効茎（穂になる茎）を充実させます。
下位節間の過剰な伸長を防ぎ倒伏を軽減します。
- 根の活力向上
土壌に十分な酸素供給を行うことで、根圏が拡大します。
根の活力が高まるため、登熟を最後まで支えることが可能になります。

2 中干し期間の目安

地力：低～並 生育量：並～良	7～10日間を目安に小ひびが入る程度の中干しを行います。
地力：高 生育量：過多	11～15日間を目安にやや強めの中干しを行います。

病害虫防除

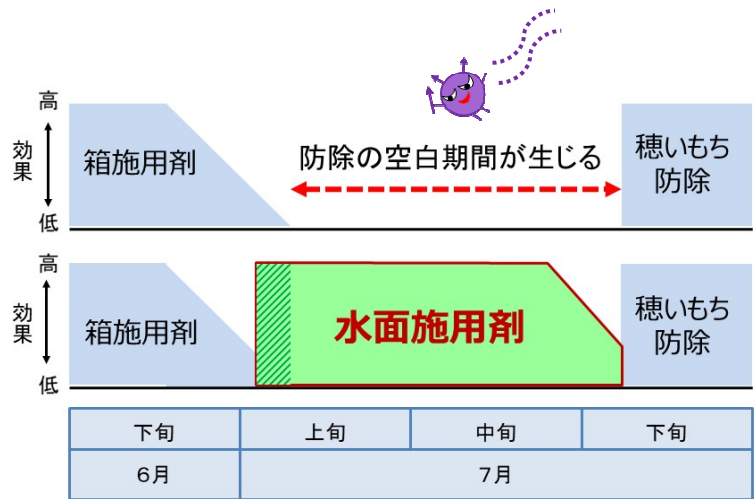
1 葉いもち予防の徹底を！

取り置き苗による葉いもちの発生が確認されています。まだ圃場に取り置き苗を置いている場合は早急に撤去しましょう。

箱施用剤の効果が切れる7月上旬から穂いもち防除までの間は「防除の空白期間」となり、葉いもちが発生しやすくなります。

予防を目的とした水面施用剤で防除を行いましょう。

発生してからでは十分な効果を期待できないため、7月上旬までには施用するようにします。



箱施用剤と穂いもち防除のみの体系（上）と
水面施用剤による防除を加えた体系（下）の
防除効果のイメージ

2 斑点米カメムシ類対策

県病害虫防除所の調査では、斑点米カメムシ類の発生概況は“平年並”です。農道・畦畔・法面等の草刈りを徹底して生息密度の低減を図りましょう。

3 雑草対策

水田内に後発雑草が発生している圃場は、早めに残存雑草除草剤を施用しましょう。施用が遅れると雑草が大きくなりすぎてしまい、十分な効果が見込めなくなります。

やまがたアグリネットが新しくなりました！

やまがたアグリネットでは、お使いのPCやスマートフォンから作物別・地域別の最新情報をご覧になれます。会員登録無料！



農薬危害防止運動実施中！（6/1～8/31）

ラベルで登録内容をしっかり確認しよう！



STOP！農作業事故！

農薬散布時は安全な服装で！

熱中症に注意！こまめな休憩と水分補給を行おう！

